

川鉄本社 技術開発部
システム部

満岡正彦⁰、堀添 智
新美 豊

- 1.はじめに 情報検索の省力化、迅速化、質の向上を目ざして、METADEXを主情報源とする電算機処理IRシステムを作成した。
- 2.システムの概要 日本ユニパック（NUK）で開発したIRシステムDOORSを中心としたシステムで、その構成は大きく第1図のようになる。(1)文献標準化システム・METADEXの原テープの記述を標準化し、所要のデータ付加をし、FORMATの変換をする。主要な機能は a.雑誌名の標準化 b.JICST雑誌コードの付与 c.CODEN雑誌コードの付与 d.対訳雑誌の記述の追加等である。
- (2)新規文献入力システム 文献をDOORSデータベースに追加登録する。(3)シソーラス修正システム (4)検索システム。全体システムの中で最大のプログラムサイズ64KW（36ビット/1W）をもつ検索システムで、RS、SDIを行なう他、検索式（条件）の登録、修正、削除も行なわれる。(5)文献修正システム・既登録文献の修正で、カード入力による任意の修正の他、対訳雑誌記事の除去、翻訳文献の登録を行なう。
- 3.ハードウェアとオペレーション (1)中央処理装置 UNIVAC-1100シリーズ131KW. (2)I/O. ドラムまたはディスク。磁気テープユニット、カードリーダー、プリンター (3)オペレーション、バッチ処理
- 4.文献の入力 文献の新規入力1回/月。METADEXの中鉄鋼関係1,000~1,200件/月を入力する。
- 5.SDI 約130の標準テーマの中から任意個を選択するいわゆるスタンダードSDI方式である。全社約180の課、室、掛に週単位でサービスする。
- 6.RS 文献検索を希望する社員は、所定の用紙に記入し技術情報室に申し込む。情報室では各種の二次資料を使つて検索を行なうが、電算機を使つたRSもその一つとして行なわれる。1回/週の処理である。

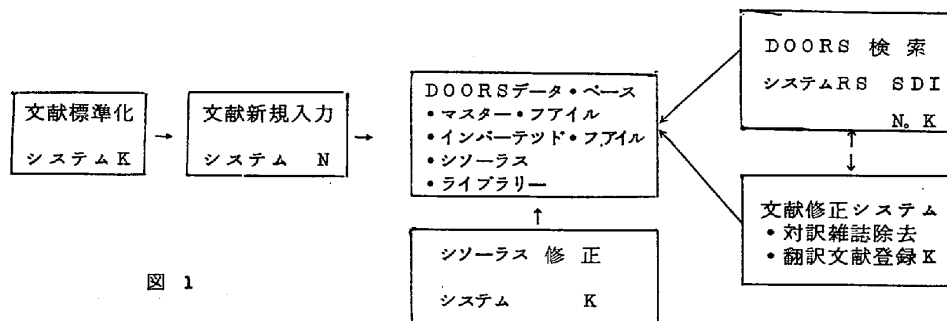


図 1

- 7.反省と今後の方針 (1)電算機メーカーのプログラムを利用したのは開発スピードの点でよい。(2)市販の磁気テープはどのみちindexingに不満があるので、修正を充分考慮しなければならない。(3)データ量の圧縮のため今後とも努力を要する。(4)翻訳やJICST雑誌コード等プリント後の使い勝手に関係のある表示はよかつた。
- (5)検索に直接関係のない事項（ここでは翻訳の表示等）もできる限りとり込んで機械化した方がよい。
- (6)著者による検索は頻度が少なく機械化の必要はない。
- 8.参考 (1)ファイル DOORSデータベース以外のファイルは、a.雑誌テーブル b.翻訳対照ファイル c.SDI USER PROFILE d. 保留ファイル (2)処理時間 a.文献標準化 40分/月 b.文献新規入力関係40分/月 c.SDI 20分/週 (回) d.RS 1分/週
- 9.用語 METADEX アメリカ金属学会（ASM）発行の冶金に関する文献集の磁気テープ版。
- SDI 予め登録されたテーマにしたがつてCurrentな情報を報知するシステム。
- RS あるテーマにおいて過去にどのような事が行なわれたかを探索するシステム。
- シソーラス キーワードの標準語。どの位くわしい語を使うか、語の関係（より広い、より狭い）等が規定される。 以上